

平成 22 年（2010 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 22 年 12 月 13 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	永 山 盛 廣 (自民・無所属 連合)	知事のマニフ ェストと市政に ついて	今度の知事選で「豊かで住みよい美ら島おきな わづくり」を目指して 11 項目にわたる「なか い ま弘多マニフェスト」を作成発表し、二期目の 当選を果たした仲井眞知事は、これから 4 年間、 このマニフェストに基づいて県政を進めていくも のと思う。これらの政策は、那覇市政とも深く関 わるものがある。その中から次のことについて伺 う (1) 健康福祉社会の実現 お年寄りが元気でいきいきと暮らせる沖 縄づくりと健康長寿世界一に再チャレンジ するとあるが、本市の取り組みはどうなっ ているのか (2) スポーツ振興の項目の中で「空手道会館」 の建設と「J 1 公式戦が開催可能なサッカー 場」の整備をするとあるが、「空手道会館」 の建設位置は空手の本場メッカづくりにふ さわしい首里城を望める位置に建設し、サッ カー場も那覇市に誘致すべきだと思うが当 局の見解を伺う (3) 人材育成 学力向上対策について
			【答弁を求める者】 副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	坂 井 浩 二 (そうぞう)	1 伝統工芸の 保護について	那覇市の伝統工芸を語る上で、壺屋の焼き物は当然欠かせない存在である ところが、現在この壺屋焼きにかかわる製土工場の事業存続が危惧される状況となっている 恩納村大学院大学敷地内にある製土工場について、本市はどのような認識をもっているのか、以下伺う (1) この製土工場の建設目的とこれまでの運営状況について、どのように把握しているのか (2) この製土工場に対する、村からの土地明け渡し通知の事実を、どのようにとらえているのか (3) 県都那覇市の貴重な財産として、壺屋の伝統工芸を存続させていくために、この問題に対して、本市は今後どのような取り組みを行っていくのか
		2 旧軍飛行場 問題について	旧軍飛行場問題解決に向けて、現在本市はどのような取り組みを行い、地主会との取りまとめを行っているのか伺う (1) 旧那覇飛行場用地問題解決地主会との問題解決に向けての現在の進捗状況について (2) 旧小禄飛行場字鏡水権利獲得期成会は「コミュニティセンター」、また、伊江村旧飛行場用地問題解決地主会については「高速フェリーの導入」等、旧軍飛行場問題解決においては、各地主会ごとに用途名目が分かれているが、本市の基準見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 土地区画整理事業について	宇栄原南土地区画整理事業に伴う市域境界問題について、以下伺う (1) この問題について、現在の進捗状況はどうなっているのか (2) 「我那覇後原地区那覇編入問題について」の陳情が、去る9月定例会において全会一致をもって採択された。この事実をどうとらえているのか
		4 学童保育について	去る11月15日、国は新育児施策「子ども・子育て新システム」の素案を公表した その中身として、市町村による施設の整備や運営の義務化、原則として小6までを対象児童とする等、今後の政府方針を示した この新しい施策案が本市に与える影響として、考えられるメリット及びデメリットについて本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	宮 國 恵 徳 (そうぞう)	1 教育、福祉 行政について	中学生への「がん教育」について伺う (1) 本市で来年度から子宮頸がんワクチンを公費助成するのをきっかけに子宮頸がんウィルス感染を予防する面から、本市の中学校の女子生徒に安心して、ワクチン接種が受けられるように、女性特有の「がん」に対する教育を学校現場で行うことは不可欠だと考えるが当局の見解を伺う。 (2) 死亡率の高い肺がん、胃がん、大腸がん等の死亡率を減少させるには「がん」そのものを学ぶことが必要であると考え 遺伝子や細胞分裂を勉強する中学生へ「がん教育」を行う考えはあるのか伺う (3) 子宮頸がんワクチン接種方式について、既に公費助成を進めている自治体でも、色々と問題が出ている 学校などでの集団接種なのか、医療機関での個別接種で行うのか当局の見解を伺う
		2 福祉行政について	福祉行政について伺う (1) 不妊症や不育症とは、どういう病気か (2) 不妊症や不育症の患者は高額な治療費に重い負担を強いられている。患者は薬代が高いため、途中で治療をあきらめてしまうケースもある。お金がないから子供を産むことをあきらめてはならない。患者には経済的、精神的サポートが必要である。不妊症や不育症の患者さんにも子宮頸がん同様公費助成をしては行かないのか、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 泊北岸整備 について	泊北岸整備について伺う (1) 泊北岸は主に離島航路の船や観光客相手の遊覧船が利用していると思う。港の中に長時間も駐車している車はどのような関係者の車で、許可車なのか (2) 港の中の道路と平行して、少しのスペースで(離島及び遊覧船からの客待ちの為に)タクシーの駐車場を確保してほしいという市民からの要望がある。可能かどうか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 教育行政について	(1) 平成 18 年に経済産業省は「シティズンシップ教育宣言」を出した。市民一人ひとりが自分を守りながら個性を発揮し自己実現するとともに社会の意思決定や運営の過程において、権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質としてのシティズンシップ教育の必要性が提起されている。以下、伺う ① このシティズンシップ教育は成年、未成年を問わず主体的な良識ある市民を育成するためのものであるが、学校現場ではどのように実施されているのか ② シティズンシップ教育の 1 例として未成年者の模擬選挙があるが、先日行われた沖縄県知事選挙の模擬選挙が沖縄尚学高校で実施された。教育委員会の見解を伺う (2) 先日、NHKテレビで、全国の学校において発生した事故は年間 110 万件にのぼると放映されていた。本市の学校における部活動での子どもたちの事故の実態を伺う
		2 中小企業支援について	緊急保証制度は 2008 年 10 月にスタートして 2 年が経過している。この制度はリーマンショック以降窮地に立たされた数多くの中小企業を支えてきた 制度開始以来の承諾実績は 11 月 18 日現在累計で 23 兆 2,388 億円、129 万 6 件になっているようだが、以下伺う (1) 本県及び本市における融資を受けられた企業の件数 (2) その制度が果たしてきた役割

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 基地行政について	普天間飛行場への米軍機のダイバート訓練の実施以降、那覇市上空での戦闘機騒音が増えていることを受け、市長は、沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、在沖米国総領事館、在日米軍沖縄調整事務所に抗議文を提出しているが、その内容を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成22年12月13日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	玉城 彰 (民主党)	1 マチグラー 支援事業について	那覇市平和通り商店街振興組合が平成22年度の頑張るマチグラー支援事業の募集要項にのっとり、アーケード施設整備事業を申請したが不採用になったようである。そこで、次のことについて当局の見解を伺う (1) 不採用となった主な理由は何か (2) 今後の対処策について
		2 待機児童解消策について	政府は待機児童解消の強化策として、2010年度補正予算で1千億円、2011年度予算に200億円を計上、新たに約3万5千人の認可保育所などの定員増や約1万人の雇用創出を見込んでいる。次の事について本市の見解を伺う (1) 2010年10月現在の待機児童数と潜在的な児童数は幾らか (2) 今年度の補正予算1千億円のうち沖縄県への交付額は幾らか (3) 今回の補正予算と新年度予算で大幅な待機児童の改善につながるのか (4) 今後の課題について
		3 子ども・子育て新システムについて	政府は幼稚園と保育所・認定こども園を廃止し幼保一体化を目指し、新設される「こども園（仮称）」の2013年度施行に向けた法案提出を準備している。沖縄県における現状と新制度に対する影響について当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成22年12月13日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	清水 磨男 (民主党)	1 動物について 2 公共施設について 3 スポーツについて 4 義務教育について 5 おもろまち問題について	避妊や去勢の徹底、ICチップによる管理などを導入すべきと考えるが、本市の考えを伺う (1) 美栄橋公園の一層の市民利用のためにフェンスの撤去も検討すべきではないか伺う (2) 有効活用されていない緑地や公園は別の目的に使用することも検討すべきではないか伺う (3) 沈埋トンネルの開通はいつか伺う 夜間開放されている小中学校 51 校のうち、何校がフットサルに開放されているか 夜間中学校などによる義務教育への取り組みに本市として支援する考えはないのか、改めて伺う (1) 土地の売却にあたって、不動産鑑定士を「建設管理部作成の平成 18 年度那覇市不動産鑑定業者名簿の中から、未選定であった業者を抽出し、これまで沖縄県不動産鑑定士協会の理事などもされ、誠実な業務をされている業者であることなどから選定したものとあります。」と選定したが、この方法の根拠はあるのか伺う (2) 鑑定を行うにあたっての那覇市の資料提供及び指示は、過去の答弁をみる限り、国などの基準に違反していた疑いがあると思われるが、責任を含め本市の考えを伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成22年12月13日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 市内の松枯れ対策について 2 都市計画行政について 3 都市型水害対策について	本市にも松枯れが進行している。本市の住環境を守り、潤いのあるまちづくりに欠かせない木々を守ることが重要であると思う。以下伺う (1) 識名園の駐車場の松はなぜ枯れたのか。仮に園内の松が枯れると世界遺産としてどのような影響があるか (2) 地域に親しまれている松の大木は、何本あるか。市として松枯れの現状をどう認識しているか (3) 松くい虫対策は、環境部と商工農水課・公園管理室・道路管理室や教育委員会を網羅した横断的な対策チームを立ち上げ、市が積極的に対策をすべきである。見解を問う (1) 繁多川一丁目の森永乳業跡地の裏手は一方通行の狭い道で住宅密集地であるが、消防車が進入できるのか。過去に火事等の災害はなかったのか伺う (2) この森永乳業跡地に、道を1本通すことが防災上必要ではないか。またそのような措置が可能なのか。対応と見解を問う (1) 本市の浸水常襲地域は何か所か。この5年でどのような被害が発生しているか (2) 雨水地下浸透枡と雨水小型貯留施設を補助しているが、その意義と実績を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	新しく開通した、真地久茂地線の識名トンネルの完成に伴い、那覇市道（識名東線）が分断され、横断ができなくなっている。地域の皆さんから、不便になったと苦情があり、信号機を付けて安全に横断できるようにしてもらいたいとの要望がある。対応と見解を問う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長